

街歩きヒストリア



新築時の広島合同貯蓄銀行本店（昭和 12 年（1937 年）頃 廣島銀行「創業百年史」資料（広島県立文書館寄託））

（旧
・ 広島銀行銀山町支店
・ 広島合同貯蓄銀行本店）

38

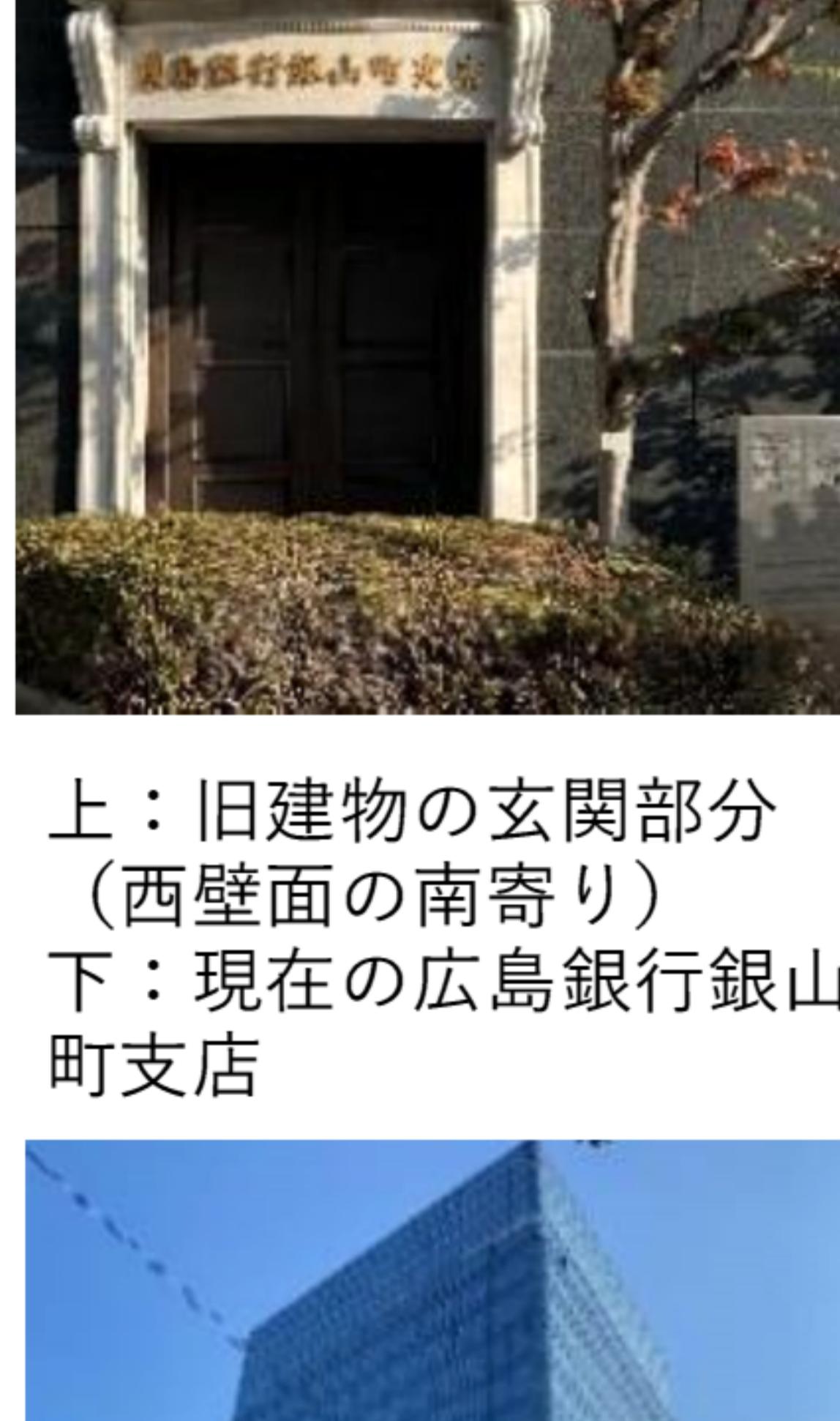
上の写真はこの銀行の旧建物です。ギリシャ風の白い柱や装飾が豪華で重厚な印象ですね。昭和 12 年（1937 年）に広島合同貯蓄銀行本店として新築、石造り 3 階建ての建物でした。

昭和 20 年（1945 年）には政
府の一県一行主義で藝備銀行と
なり、同年 7 月からは広島東警
察署として機能。原爆投下時
に倒壊を免れ、8 月 7 日から
の 12 日間は臨時の広島県庁舎に
なりました。

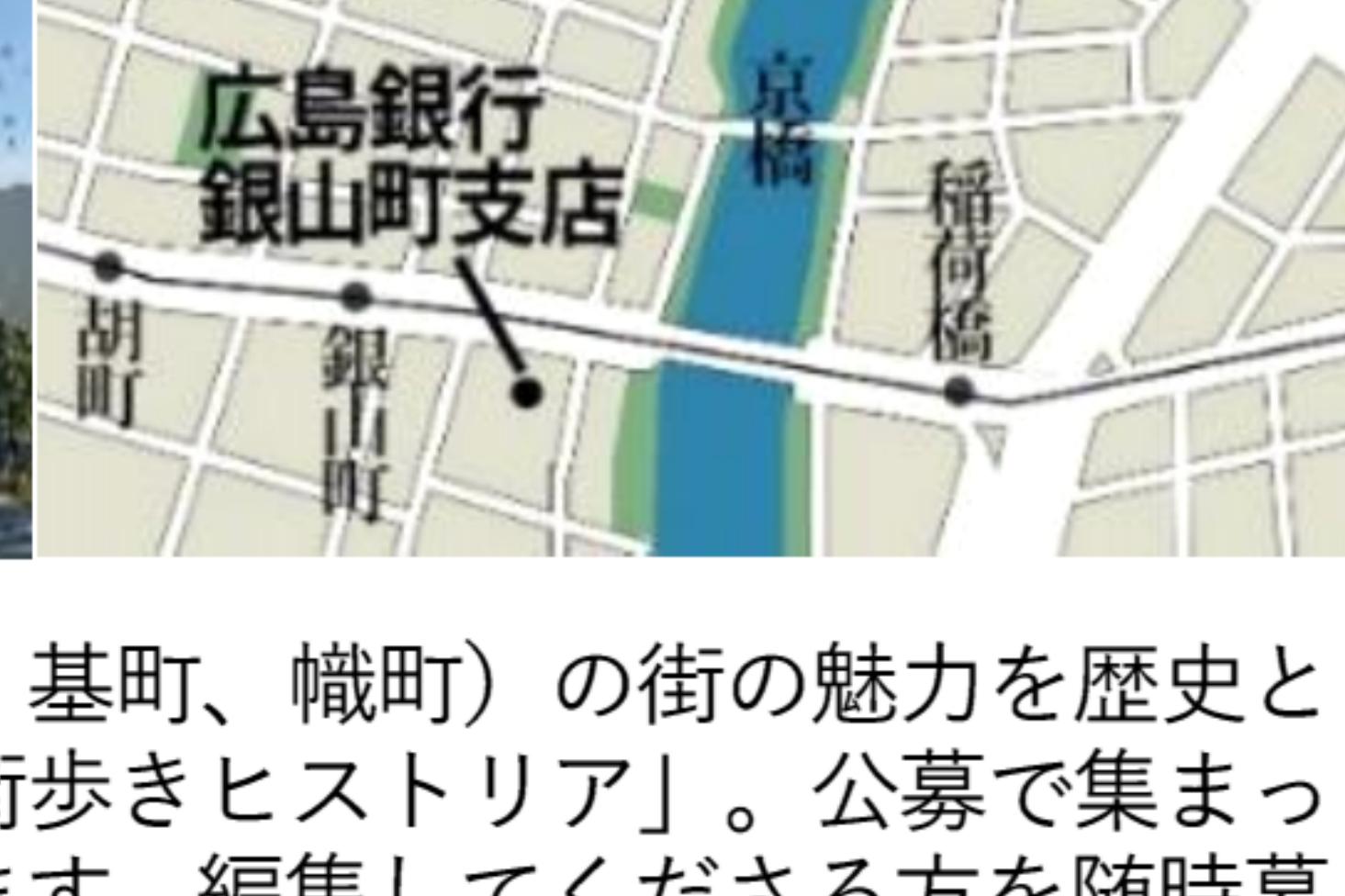
昭和 25 年（1950 年）
に広島銀行に返還され、
同行支店として長く愛
されてきましたが、昭
和 63 年（1988 年）に
建て替えられました。

現建物の壁面には旧
建物玄関部分が保存さ
れています。歴史を語
る貴重なモニュメント
です。

（文、写真・片山 典子さん）



上：旧建物の玄関部分
(西壁面の南寄り)
下：現在の広島銀行銀山
町支店



中央公民館エリア（白島、基町、幟町）の街の魅力を歴史と
ともに紹介するコラム「街歩きヒストリア」。公募で集ま
った制作スタッフが編集します。編集してくださる方を隨時募
集しております。